



門 選
號 882
卷 1

命 平
旭 文 庫

日 月 燈 江 海 油 風 雷
鼓 板 天 地 者 一 室 戲
場 竟 舞 且 文 武 末 萃
標 丑 淨 古 今 未 許 多
脚 色

康 熙 帝 坐 者 能

晴
鐘

明 治 三 十 三 年
十 八 日 購 本

續像飛馬始總目錄

卷之一

孤島の軍陣備
花街の大喚日
若殿の迷子呼

卷之二

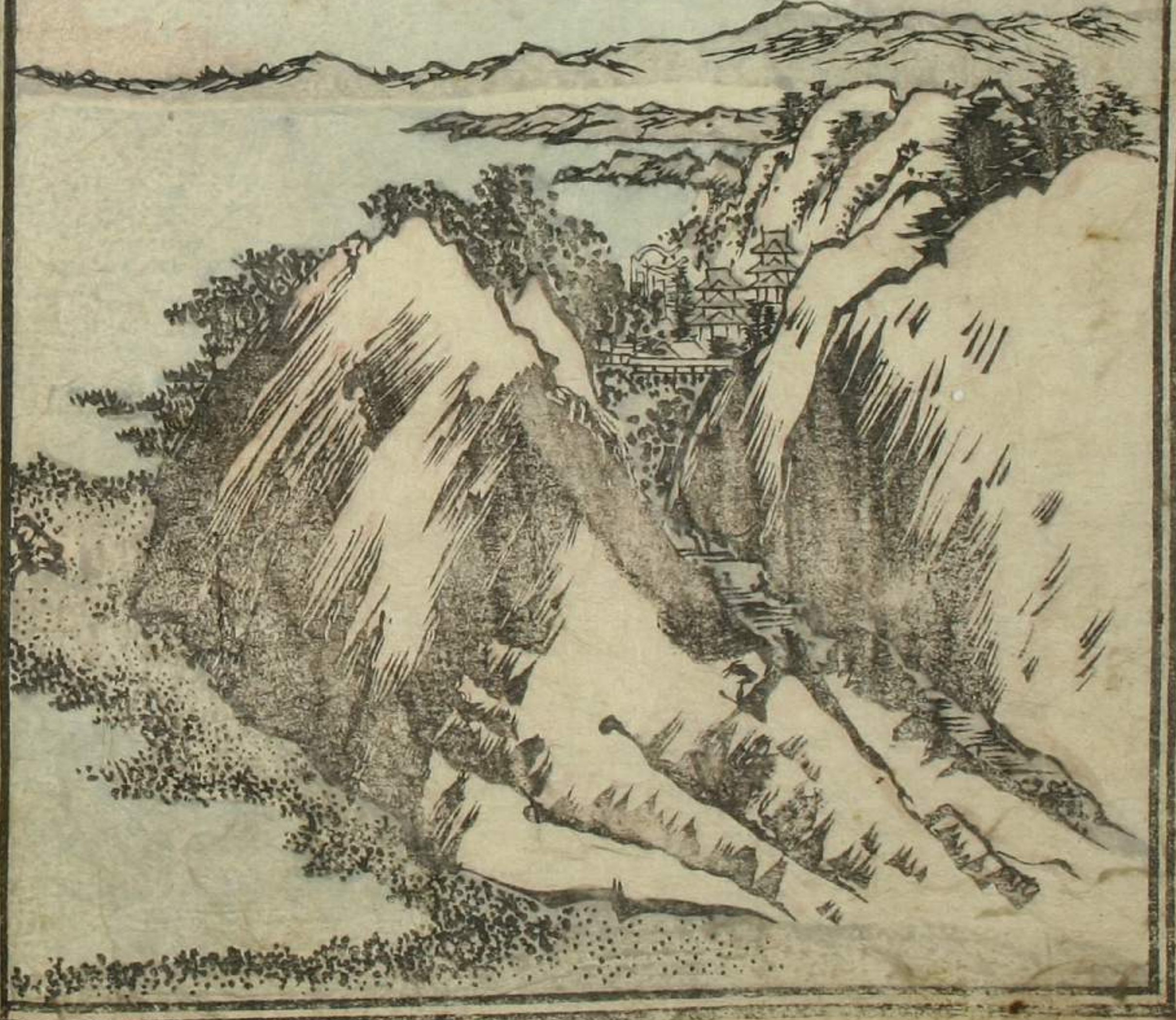
難題の銚子鍋
猿夷の姦計策
衢堂の雪惠昏

卷之三

獻上の飛火具
古語の破魔子
殘黨の筵旗上

卷之四

武館の奇雜子



卷之五

居室の筑紫琴
同肥の鮮血合

卷之六

懷旧的結玉章
天罰の箭叫音
珠夏の白幣帛

卷之七

街道の春陽あめ
契情の續松遊
島原の來歴説

卷之八

盤上の闘戦評
幽谷の春陽景
浦山の凱歌聲

全部七卷目通計
二十一回完







栗島家の侍女
彌生
賣ハ
毛瓜の息女
岩姫

嵐小六



栗島家の勇士
立清伊達五郎一益
市川兼十郎

馬をこへ海家

至意あ〜

いん

芭蕉



栗島の老臣立齋兵部一忠
中山新九郎

同 後室小夜路

浅尾ユ左衛門



雛五
局ふゆふゆ

姫の子

五ん

田舎娘阿種

中村三光

終驗者案阪法印
實ハ千葉勝奮川為真



浅尾真山

常住檢校

實ハ森陶意斬

市川

團藏

立琴やひろし 妻

の 殺そりん

立花左近重良

坂東重太郎

京師

島原の

遊君

為篠

中村哥六





尼子四郎
義久

中村歌左衛門

大谷
友右衛門

名草郡
甚兵衛
實

山中
麻之助
左衛門



名草の城の勇士 駒木根八郎 當正
行 剛 仁 左 衛 門

枯葉の

海

生

草

ト宅



大矢五良作
山風團八
赤星典膳
嵐冠十郎



千巻勝方門
浅尾貞山
勢塚十右衛門
浅尾 額十郎
名草の四良作
中村歌重門
名公の 甚多

大谷
友吉
野木根
八郎

行周
仁五郎

十右衛門元と中國行曾根の家臣もれども毛利元就は討ちたれ浪人
とぬく當所名草の那二藝兵の拙者一ヤ共共進も江州改卒の浪人眼あり
足利の所代武村義隆とて一討とてとすうせぬ時の運時節とてこころ
其房より世名草の那二立城時ぶ一去氏と成る世と違ふ一それるも甚き忠
の世名の合符合符せしも以赤の氏名とかやうせん為拙者も中尾元子の浪
人子兼勝右衛門一男共も同一元子の浪人大夫五郎伴一それば皆由緒可き
英雄とれと時とらぶとて世名草の那二百姓去氏常共忠意が時の意ひ世
甚き忠が扱とらやして世名の合符百姓徒黨といひて京鎌倉と當所扱目比の
るも忠念とてそれにも主人へ忠義一小幡村へ討ちし向ひ赤星典膳も同元子
の浪人おれはいつても一騎は物成と定めて一軍師も別無様十右衛門元
十ヤ一軍師とて將らうらうき取らして万吏のけり列と一軍師字とては拙者

るればやうりそら取一志中して一ヤ赤星退けらるる様は後北軍師もそ
ら又武勇とげお本根の後此度の嶋は一拙者と嶋はとあれは忠大めら
安成一も年殺らんば甚き信成一今やともらん一ヤおまをわのりひ甚き
との沖幸名元子時久との四尺山中鹿之助なるれは一約本根のの一いつあも
甚き信成と世名の持原なるれは一ヤ一とらと元子の家臣とらんとては武
勇とあらひ一山中あれ共かく老ぬとて鹿之助大めらとて思ひ寄ぬ
一志中して大意味方と付一村の百姓大めらとて一傳法はとぬ一情時
軍師も定じ上ら大め軍と甚き信成一ヤ此の合符名草の那二百姓
徳黨の惣大め軍と成へき智仁意徳の勇者と外は一とら其勇者と
とら一志星典膳進付同進いつてで々か今世一ト向し戸や一サく四郎
作後らゆらん幸れ一それどももつと親父がうと遣れやとぬ一とら

「引」十「ス」ヤ「沖」子「息」四「郎」作「及」ト「一」堂「ひ」る「こ」の中「の」ほ「ろ」ま「は」り「て」ま「は」り
ぬ「ア」ワ「リ」他「」ハ「ん」ト「合」方「」ハ「き」に「あ」り「し」て「は」り「能」が「は」り「て」
「あ」は「」ハ「く」親「父」ハ「ニ」テ「何」で「ら」ぬ「入」ト「は」る「」ハ「く」昔「」ウ「ウ」ぬ「や」り
其「ち」ヲ「」ハ「テ」モ「ど」お「や」子「の」お「と」て「親」が「」ハ「ク」親「て」あ「り」牌「で」ウ「ぬ」こ「あ」り「現
在」批「者」ガ「沖」至「人」ハ「引」給「あ」ふ「出」雲「石」之「の」沖「至」尼「子」伴「縁」之「助」晴「久」之「沖」批
の「切」名「ヲ」氣「丸」之「批」者「ト」沖「來」山「中」鹿「之」助「音」盛「」ハ「ス」ヤ「初」火「時」ハ「生」諸
ウ「ウ」ぬ「の」上「と」あ「ま」り「」ハ「一」世「と」將「う」つ「て」拍「子」ト「め」さ「び」我「ヲ」こ「し」て「壽」士「ハ」
拾「六」年「其」年「月」ト「念」念「之」は「り」ハ「州」名「某」郡「の」百「姓」甚「と」傳「が」牌「の」四「郎
伴」ト「思」ひ「我」ト「今」尼「子」晴「久」友「の」親「ト」ウ「マ」ウ「何」を「様」お「」ハ「池」邊「ト」ハ「沖」也
縁「は」是「守」ハ「引」二「重」輪「邊」の「結」の「言」付「ハ」沖「父」晴「久」之「の」沖「也」縁「ハ」ス「ヤ」此「也」ガ
ト「首」ふ「り」け「り」つ「り」つ「り」て「あ」り「わ」て「あ」り「る」ハ「」ハ「一」世「ハ」晴「久」二「重」輪「の」右「金」縁「を」れ「て
十「大」唐「門」ト「も」マ「リ」ハ「」ハ「一」世「ハ」晴「久」ト「も」

「引」十「ス」ヤ「沖」子「息」四「郎」作「及」ト「一」堂「ひ」る「こ」の中「の」ほ「ろ」ま「は」り「て」ま「は」り
ぬ「ア」ワ「リ」他「」ハ「ん」ト「合」方「」ハ「き」に「あ」り「し」て「は」り「能」が「は」り「て」
「あ」は「」ハ「く」親「父」ハ「ニ」テ「何」で「ら」ぬ「入」ト「は」る「」ハ「く」昔「」ウ「ウ」ぬ「や」り
其「ち」ヲ「」ハ「テ」モ「ど」お「や」子「の」お「と」て「親」が「」ハ「ク」親「て」あ「り」牌「で」ウ「ぬ」こ「あ」り「現
在」批「者」ガ「沖」至「人」ハ「引」給「あ」ふ「出」雲「石」之「の」沖「至」尼「子」伴「縁」之「助」晴「久」之「沖」批
の「切」名「ヲ」氣「丸」之「批」者「ト」沖「來」山「中」鹿「之」助「音」盛「」ハ「ス」ヤ「初」火「時」ハ「生」諸
ウ「ウ」ぬ「の」上「と」あ「ま」り「」ハ「一」世「と」將「う」つ「て」拍「子」ト「め」さ「び」我「ヲ」こ「し」て「壽」士「ハ」
拾「六」年「其」年「月」ト「念」念「之」は「り」ハ「州」名「某」郡「の」百「姓」甚「と」傳「が」牌「の」四「郎
伴」ト「思」ひ「我」ト「今」尼「子」晴「久」友「の」親「ト」ウ「マ」ウ「何」を「様」お「」ハ「池」邊「ト」ハ「沖」也
縁「は」是「守」ハ「引」二「重」輪「邊」の「結」の「言」付「ハ」沖「父」晴「久」之「の」沖「也」縁「ハ」ス「ヤ」此「也」ガ
ト「首」ふ「り」け「り」つ「り」つ「り」て「あ」り「わ」て「あ」り「る」ハ「」ハ「一」世「ハ」晴「久」二「重」輪「の」右「金」縁「を」れ「て
十「大」唐「門」ト「も」マ「リ」ハ「」ハ「一」世「ハ」晴「久」ト「も」

お大納の分量とためてト又はゆりトヤ若年るんを武蔵とゆんぐ
農業者のいぬは油の餘ゆりゆりのまへお神の目出トおこのおまご
もやまはむがけトては字づどてり花とゆりまを結くトおまごのい
眠猫のまへト又おふんは其子もまるといふトあつたれぬ花あはれ
おまごもゆり入トスル拙者が屋の通ト百姓徒黨の大納と作ても
大のあつたるトエイトあ人あ方よりおまごのつ
ゆりせんごん三乗トゆりゆりゆりト一万余のあつたるトスリヤ世ト百姓徒黨
の大納と作がれ大をれ終上ト氏といひ終るト連の御大納トあつたる
御縁十をゆりト御本根八節ト御下知ははは粉骨細身ト我も太勤とゆり
ゆりゆりトゆりゆりゆりト君もあつたるゆりゆり水もあつたるゆりゆり
柔弱の残るれゆりの助かとりて何年文がまるといふゆりトあつたるゆりゆり

お大納の分量とためてト又はゆりトヤ若年るんを武蔵とゆんぐ
農業者のいぬは油の餘ゆりゆりのまへお神の目出トおこのおまご
もやまはむがけトては字づどてり花とゆりまを結くトおまごのい
眠猫のまへト又おふんは其子もまるといふトあつたれぬ花あはれ
おまごもゆり入トスル拙者が屋の通ト百姓徒黨の大納と作ても
大のあつたるトエイトあ人あ方よりおまごのつ
ゆりせんごん三乗トゆりゆりゆりト一万余のあつたるトスリヤ世ト百姓徒黨
の大納と作がれ大をれ終上ト氏といひ終るト連の御大納トあつたる
御縁十をゆりト御本根八節ト御下知ははは粉骨細身ト我も太勤とゆり
ゆりゆりトゆりゆりゆりト君もあつたるゆりゆり水もあつたるゆりゆり
柔弱の残るれゆりの助かとりて何年文がまるといふゆりトあつたるゆりゆり

勝く「さきの討ちおれは」一ツ契約と遠く我下知と背くのう「今更めて」一
 らん勝く「一」切切切は「船の中へ去上りて金のさくらをりら「舟中」
 の陣中とさくら「舟中」の「勝出」今「新」夜で「つ」ト「は」は「舟」も
 「猛虎尚」と「仁」と「知」活「孔」我「り」敵「あり」は「つ」で「要」害「洞」なる「内」は「敵」
 「又」向「や」是「是」鹿「忍」回「り」めて「速」更「と」以「て」勝「め」て「又」更「と」な「れ」て「よ」う「ら」ふ「一」は「勝」
 軍「急」も「勝」一「其」言「と」ぬ「く」人「有」然「と」我「く」ハ「一」中「に」停「よ」え「せ」し「も」斗「略」一「智」
 と「い」ひ「勇」と「い」ひ「い」ふ「一」の「勝」勝「忍」の「程」一「あ」令「と」お「げ」つ「て」も「一」は「勝」お「う」る「ぬ」
 師「大」お「一」風「お」う「と」ど「ん」行「と」も「つ」て「ま」雲「勢」と「い」せん「人」陣「よ」う「と」ど「ん」行「と」ぬ「て」
 送「し」て「解」せん「世」上「と」弱「本」根「營」塚「山」中「も」品「よ」は「一」それ「我」と「え」て「せ」さ「る」勇
 々「一」か「る」大「お」り「上」り「世」名「を」け「那」と「え」還「九」次「へ」押「後」り「要」害「た」る「去」地「と」え
 立「疎」と「う」人「毛」利「益」地「と」を「ぬ」一「い」ふ「も」勝「塚」後「の」作「の」通「り」時「日」と「い」ふ

さ「大」お「ま」人「一」孫「更」ハ「密」成「と」以「て」は「と」い「ふ」九「次」へ「還」す「も」大「お」お「め」目「を」ぬ「す」
 小「い」づ「れ」も「む」そ「う」ふ「一」の「い」ふ「も」及「ぶ」鹿「之」脚「其」方「も」様「も」妹「が」弟「弟」と「一」二「三」は「勝」の「せ」り
 と「登」接「一」す「が」大「お」ゆ「を」扱「領」て「河」姓「名」と「一」百「姓」の「名」を「連」え「た」る「四」郎
 ち「更」ま「の」義「久」一「吉」日「と」撰「ん」で「河」え「服」一「九」洲「出」立「す」も「い」急「ん」ト「世」内「を」ぬ「す」
 「あ」が「り」一「振」お「い」は「さ」一「た」の「の」孫「堂」ト「い」ふ「も」う「と」う「と」十「を」う「一」す「が」の「血」す「は」る
 「目」上「は」孫「岡」ト「い」ふ「も」ウ「ト」を「報」首「幕」

ト「幕」の「外」へ「上」り「い」出「さ」か「く」仕「り」お「う」が「狂」言「の」
 み「殺」害「これ」よ「う」い「ふ」く「口」咽「の」ら「う」も「さ」う「さ」う「し」
 ト「遠」入「早」は「く」ま「て」十「三」十「五」く「十」三「し」く「し」



造り物二回の通り家侍向ふお後頼通う衆重もあて奥深に千疊
 若の伴両方筋遠ひは寝骨の障子揃間の取は七五三繩と張掛くつと
 切幕の両方又の松止め傍柱は遠来をとりは掛行燈つけ有り二重
 縁屋の上は庵子雛松小里栴活其外子供仲有大勢はくはむひひは
 ぬくぬやうりと突て有る舞臺先庭のむとけいお青柳同妻も毛利
 の娘千里那二人おぐう大振被娘の揃と羽子板と揃と揃と揃と
 有る世又へ面白はつゝ人のまやう哥と早幕めく別嬪多の津の揚
 屋の伴向の晴平志也と奴とて將結の糸糸と打出
 一コリヤおんごお姫お申うお城申うおまづつて正月おびと
 若旦那の思ひ付で上下お綾のころあくむらぶらぶらおの娘は仕立と
 おんぴらうびとるえ朝の朝とくしと入おる常状のお使とくは次と
 中村歌古
 中村歌古
 中村歌古



振神を所もは尋々

手鞠

うね

孤舟

奴島平

きり羽子や海と志まぬ妹うり

利牛

中村歌古

晴平はるひら「かけをさうりして」殿とのへ向むかてしやうけがらうらなす
 上のうへ「何とぞかえぬ奴やつこをささるさうりさう」カチカチをささるさうりさう
 姉あねがうら付つきとさうりさうりのよ「アチ何なんの自まづかり」コヤとあおめてさうりさうり
 のやうにうらさうり「むむむむむむむむむむむ」世よの悪わるさうりさうりおてさうりさうり
 悪わるさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり
 晴平はるひら又またおれがさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり
 更またで下くだ部ぶがむさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり
 らぬさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり
 して「晴平はるひら殿とのに世よの悪わるさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり
 かがりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり
 上のうへ「何とぞかえぬ奴やつこをささるさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり
 左ひだり「何とぞかえぬ奴やつこをささるさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

自まづから「さうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり
 うらなす
 カチカチをささるさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり
 さうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり
 上のうへ「何とぞかえぬ奴やつこをささるさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり
 さうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり
 愛あいへんれ「さうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり
 ほてさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり
 おのれはさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり
 らぬさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり
 又またさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

